

民間技術交流会 技術発表応募用紙

技術名称	波浪共振型消波工法 (分割式直立消波函塊トリウォール)	技術の分類	製品	NETIS登録の有無	有 (KTK-080001-A)
会社名等	株式会社 三柱	担当者	小野塚 孝	連絡先	03-3630-3121
技術の概要	<p>本工法は、形状の異なる複数のユニットを組合せ形成される後壁とカーテン版に囲まれた遊水室に発生する波浪共振現象を利用して消波を行う直立消波函を構築する技術です。</p> <p>従来、直積消波ブロックやスリットケーソンが使用されていた防波堤・波除堤・護岸・岸壁・物揚場等に利用できます。</p>	添付資料	パンフの有無	有	
			その他の資料	無	
技術の特徴	<p>従来、水面付近に開口部を必要とするスリットケーソンや直積消波ブロックに代えて、構造物前面の水面上に空隙を必要としないカーテン版と後壁により形成される遊水室での波浪共振を利用する消波構造物を開発した。</p> <p>本製品の利用により下記の特徴を有する。</p> <p>1) 水面上に前面開口のない構造となるため、従来の消波構造物に比べ、施設を利用する船舶の安全性が向上する。</p> <p>2) 単一の消波対象波に対しては、単一の遊水室を持つトリウォールシングルタイプの使用によりスリットケーソンや直積消波ブロック等に比べ遊水室幅を半分程度に抑える事が出来る。</p> <p>3) 二つの遊水室を持つトリウォール標準タイプを使用する事で対応可能な消波対象波周期・波長を現地条件に合わせて設定する事が出来る。</p> <p>4) 1スパン5mと遊水室入口の延長方向開口幅が広く、斜め入射波も効率よく消波する事が出来る。</p> <p>5) 波が作用したときカーテン版先端に派生する渦流れにより構造物前面水域の鉛直混合を促進する。</p> <p>6) スリットケーソンや直積消波ブロックに対し、構造物の建設コストを70~80%に抑える事が出来る。</p>	その他	特に無		